

犯罪のない安全・安心まちづくり情報誌

Vol.

9

平成18年9月発行

# くらし 安全通信

神奈川県 安全防災局  
安全・安心まちづくり推進課

電話 045(210)1111

(内線3507・3515)

FAX 045(210)8953

E-mail: anzenansin@pref.kanagawa.jp

ホームページ

<http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/anzenansin/anzennindex.htm>

神奈川あいさつ<sup>いっしん</sup>新運動

元気なあいさつで明るい地域社会をつくろう

子どもの教育はあいさつから

地域の安全・安心もあいさつから

コミュニケーションもあいさつから

『安全を 私も目くばり さんぽみち』  
『みんなで守ろう！ 人と家庭と地域の安全。』

平成17年度安全・安心まちづくり「標語」コンクール優秀賞作品（高校・一般部門）

“みんなで声をかけよう！子どもたちを犯罪から守るために”

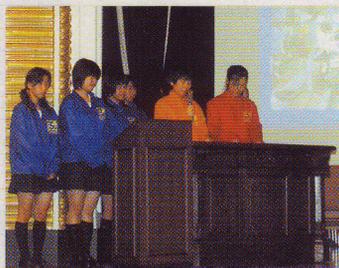
をテーマに 安全・安心まちづくり県民フォーラム を開催しました！

2006.7.22

● 大田小学校  
スクール防犯サポーター



● 安全・安心まちづくり  
阿久和北部地区会



● 神奈川県立高浜高等学校  
自律委員会



● 橘北地区青少年健全  
育成協議会



● 横須賀市立鴨居小学校

## 県内一斉防犯パトロール

- 日 時 平成18年10月11日（水）から  
10月20日（金）まで
- 場 所 県内全域  
(いつも活動している地域で実施してください。)
- 内 容 町内会、自治会等の自主防犯活動団体の協力  
による県内各地における防犯パトロール及び  
子どもの見守り活動(旬間初日の10月11日(水)  
に集中的に実施します。)
- 申込み 下記問い合わせ先にご連絡ください。

## 第2回 かながわ防犯フェスティバル

- 日 時 平成18年10月11日（水）午後1時45分から午後6時  
12日（木）午前11時から午後6時
- 場 所 みなとみらい クイーンズスクエア横浜  
クイーンズサークル（横浜市西区みなとみらい2-3）
- 内 容 防犯関係情報展示、  
防犯教室、県警察  
音楽隊演奏など
- その他 入場自由



## 犯罪に強いまちづくり講演会

～安全・安心確保の基本や  
先進事例について紹介～

- テーマ 安全・安心を守る社会システム  
～子どもの安全・地域の安全について～
- 日 時 平成18年10月12日（木）午後2時～午後4時
- 場 所 南足柄市役所 大会議室
- 講師 日本市民安全学会会長 石附 弘

- テーマ 安全・安心確保の基本～地域コミュニティのあり方について～
- 日 時 平成18年10月16日（月）午後2時～午後4時
- 場 所 横浜市西区 西公会堂 ホール
- 講師 日本女子大学教授 清永 賢二
- 申込み 下記問い合わせ先にご連絡ください。

安全で安心なかながわを目指して

# 安全・安心 まちづくり旬間

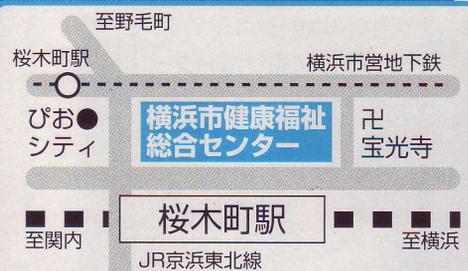
毎年、10月11日から20日まで

「安全・安心まちづくり旬間」は、県民総ぐるみで犯罪の発生する機会を減らす取組みを促進するため、「神奈川県犯罪のない安全・安心まちづくり推進条例」に定められています。

旬間では、安全・安心まちづくりの機運を盛り上げるため、防犯に関する様々な催し（安全・安心まちづくり旬間事業）を実施します。皆様のご参加をお待ちしています。

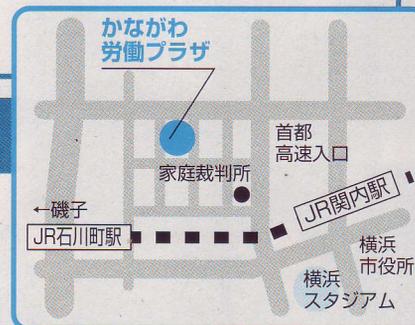
## 安全・安心まちづくりネットワーク交流集会

- 日 時 平成18年10月14日（土）午後1時から午後4時30分
- 場 所 横浜市健康福祉総合センター 大ホール（横浜市中区桜木町1-1）
- 内 容 第1部 「標語」「ポスター」コンクール表彰式  
第2部 基調講演  
「心ゆたかに生きる～僧侶になった鬼刑事が語る～」  
講師 福井県妙瀧山本楽寺 大島 龍稔 師（元神奈川県警察刑事）  
第3部 防犯活動団体による意見交換会（分科会形式）  
・事例交換分科会・情報ネット分科会・まちづくりと防犯分科会
- 申込み 下記問い合わせ先にご連絡ください。



## 地域防犯活動実践講座

- 日 時 平成18年10月20日（金）午後1時30分から午後4時30分
- 場 所 かながわ労働プラザ 多目的ホール（横浜市中区寿町1-4）
- 内 容 地域防犯活動に必要な考え方や方法を身につける講座
- 申込み 下記問い合わせ先にご連絡ください。



神奈川県安全防災局 安全・安心まちづくり推進課 防犯対策推進班

問い合わせ先

〒231-8588 横浜市中区日本大通1 電話 045-210-3515 FAX 045-210-8953

E-mail anzenansin@pref.kanagawa.jp

HPアドレス <http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/anzenansin/anzenindex.htm>

# 神奈川県あんぜんあんしん！ ネットワーク（愛称：あんあんネット） を開設しました。

**URL** <http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/anzenansin/kouryu/anzenkouryu.html>

自主防犯活動団体の皆様が情報を共有し、相互に連携して活動していただけるように、8月16日からホームページ「神奈川県あんぜんあんしん！ネットワーク」を設け、次の内容で情報提供を行ってまいります。

## 1 私たちの防犯活動

県内の自主防犯活動団体の活動内容等を共有することで、相互の連携を図るための情報コーナーです。

## 2 安全豆知識

くらし安全指導員が防犯教室用に作成しているチラシ類を安全豆知識として掲載します。

## 3 防犯活動Q&A

くらし安全指導員が行った防犯教室等での質疑応答を掲載します。

✉ **メールマガジンも配信します。**

原則として月1回次の内容で配信しますが、特定の犯罪が多発した場合など、緊急に周知が必要な場合には、随時臨時号を配信します。

※メールマガジンの配信は、あんあんネットから申し込むことができます。

### ①県からの情報提供

県、県犯罪のない安全・安心まちづくり推進協議会、警察本部からの防犯対策情報やイベント情報等を紹介していきます。

### ②自主防犯活動団体の情報

県内各地域の自主防犯活動団体の皆様から提供していただいた様々な活動情報を紹介していきます。

### ③くらし安全指導員の活動情報

くらし安全指導員が、活動を通してのアドバイスや感想等を紹介していきます。

## 神奈川県あんぜんあんしん！ネットワーク

このホームページは、県内各地域で活動されている防犯ボランティア団体の皆様が情報を共有し、相互に連携して活動できるように、防犯に関する情報や「くらし安全指導員」からの防犯に関する情報などを提供しています。



●私たちの防犯活動



●安全豆知識



●防犯活動・対策Q&A



●あんあんネットメール（メールマガジン）

# オレオレ詐欺の被害が後を絶ちません！ 確認できるまでゼッタイに振り込まないで！！

息子や娘、孫などを装って、親族の心配する気持ちに付け入り、現金をだまし取る「オレオレ詐欺」事件の被害が後を絶ちません。

神奈川県内では、平成18年1月から7月までの期間に394件（うち未遂6件）の被害件数を数え、被害総額は**約8億円**にもなっています。（警察本部資料より）

## オレオレ詐欺 対策四箇条

- 1 名乗らない**  
個人情報絶対に教えない
- 2 あわてない**  
あわてたあなたが詐欺師は大好き
- 3 確かめる**  
確認先は、自分の手で調べ直そう
- 4 相談する**  
振り込む前に必ず誰かに相談を！

## オレオレ詐欺最近の手口

### 狙い撃ち型

「オレ」の名前や誕生日など、事前に個人情報調べてあります。

### 劇団型

警察官、被害者、弁護士など、複数の人物が登場します。

### 脅迫型

「どうなってもしらないぞ！」など、強くおどしてきます。

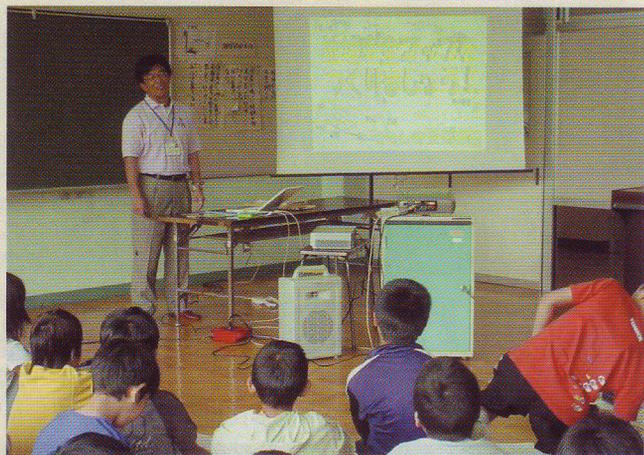
### 効果音型

バックにパトカーや救急車の音、泣き声などを流します。

二宮町立山西小学校では、「山西小学校子どもの安全を守る会」が今年6月に発足しました。家庭・地域・学校・関係諸機関が連携し、子どもたちの安全・安心に関わっていこうとするものです。しかし、子どもたち自身も「守ってもらおう」という受け身の姿勢だけでは安全・安心を手にはできないと考え、山西小学校の6年生は危険予測能力の向上・危機回避能力を身に付けるため、『地域安全マップ』作りに取り組みました。以下は、『地域安全マップ』作りの指導にあられた山西小学校の福田眞弓先生のお話です。

5月、くらし安全指導員から地域の危険を考えるための事前のレクチャーを受けました。

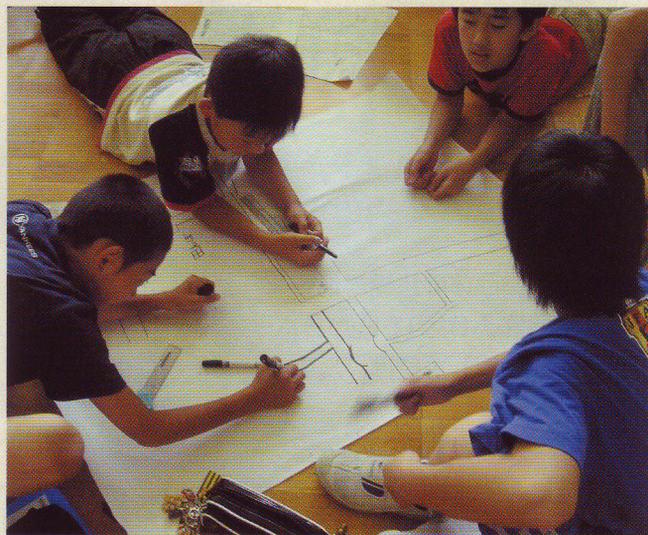
そして6月、通学路に潜む危険を探すフィールドワークを実施しました。子どもたちは、普段なにげなく見過ぎていた場所が、危険な要因を秘めていることに気づき、改めて自分の身を自分で守ることの大切さを実感していたようでした。



また、今まで放置自動車があるのを漠然と見ていただけの場所が、誰の関心も向けられていないから放置されたままであることや、そうした周囲の関心がない場所は、犯罪が起きやすく、やがては大きな事件へと発展してしまう可能性を抱えているという地域の問題にも気づき、子どもたち自身が地域を見直すきっかけにもなりました。

さらに、地域の方々がインタビューに応じてくれたことや、フィールドワークに協力してくれたことなどは、子ども達にとって貴重な体験になったことと思います。

7月に発表会を行ったところ、「落書きをされていたり、ゴミが放置されている場所は自分たちできれいにしたい」、「この地域の安全や危険についてわかったことを低学年の友だちにも伝えたい」、「地域のたくさんの人たちに



も知ってほしい」などという意見が子どもたちから出てきました。

子どもたちの中に、自分たちの目が安全をつくるという意識が芽生えてきています。2学期には、この活動を次のステップへつなげていく予定です。

『地域安全マップ』作りを通して、「子どもと地域」といった新たなコミュニケーションが生まれただけでなく、「自分たちの生活している地域を自分たちで安全な地域にしていこう」という地域への愛情がより一層深まったと思っています。危険予測能力の向上・危機回避能力を身に付けようと始めた活動が次々に広がっていき、予想以上の成果に驚いているところです。

私たち教師が教材を選ぶとき、子ども自身の手によって活動が深まるものを望むものですが、この『地域安全マップ』作りの取り組みはそれを実践できる素晴らしい活動となりました。

